



＜家庭教育学級運営マニュアルの表紙裏のメッセージより＞

『親としての人生を歩んでいるわたしたち 子育てのひとつひとつがはじめてのことばかり
子どもと1年過ごした日は、親にとって1歳のバースデー

あせらず、あわてず、あきらめず

子どもとともに、親も2歳3歳と年齢を重ねていこう

子どもが笑うとき、親もいっしょに笑えばいい (中略)

だって、わたしたちは子育てをとおして 成長し続けていくのだから (後略)』

こうした子育て・親育ちのために、適切な内容と方法で家庭教育学級に取り組んでくださり、大きな成果を上げています。

岐阜市立三輪北小学校 在宅取組型 11月24日～12月1日 「やりきりチャレンジ」

運営者の願い・目的

子どもが学習に真剣に立ち向かうための環境を整備し、家族も子どもの学習に対する自立を手助けする見届けや励ましをして、家庭学習の習慣化を図る。

「話そう! 語ろう! わか家の約束」運動の進め方

- ①学期ごとに1回実施する。(計3回)
- ②「チャレンジする学習のめあて」(子ども)、「応援すること」(保護者)を話し合っ
- ③1週間取り組み、子どもと家の人の振り返りをする。
- ④めあてへの振り返りを書き、提出する。
- ⑤学年ごとのまとめを通信で報告する。

やりきりチャレンジ
(年 組 番 名前)

やりきりチャレンジは、自分で決めて進んで学習ができる子になるために、とても大切な取り組みです。
最終日には算数のまとめのテスト、国語漢字のまとめのテストを行います。90点以上が合格です。今学期の学習がやりきれるように、この8日間のチャレンジをがんばっていきましょう。

チャレンジする学習のめあて(自分)	応援すること(保護者)	担任印
ふだんできないところも進んで学習して、やりきりテストで良い点がとれるようにする。	時間と決めて学習する。学習を頑張る!!	

やりきりチャレンジの計画・ふりかえり

日にち	計画	振り返り(自分)	振り返り(保護者)
24日(金)	漢字ドリル 10 算数鉛筆算問題 まぐ(まとめの練習)		
25日(土)	算数(割合の体積(まとめの練習)) 漢字(やからい)		
26日(日)	カード・クイズ		
27日(月)	算数の数(まとめの練習) 国語の文(まとめの練習)		
28日(火)	算数の数(まとめの練習) 国語の文(まとめの練習)		
29日(水)	算数の数(まとめの練習) 国語の文(まとめの練習)		
30日(木)	算数の数(まとめの練習) 国語の文(まとめの練習)		
12/1日(金)	算数やりきりテスト 国語漢字やりきりテスト		

自分	保護者
やりきりチャレンジで、算数と国語の勉強を頑張ることができました。振り返りを書くことができたので、学習できたことが嬉しかったです。	毎日、学習の計画を立ててくれて、声かけや見届け、励ましをしてくれました。振り返りを書くことができたので、学習できたことが嬉しかったです。

担任から
すくさんがんばって、計画も守って、自分で工夫してチャレンジしていることがよくわかりました。よくがんばってね!!

三輪北小学校の『やりきりチャレンジ』のよさは、
「めあて」を子どもと保護者(家族)が話し合っ

「評価・振り返り」を一緒に実践していることです。

また、学校と家庭の協力体制ができています。

学校：「家庭学習の進め方」をPTAの契に提示。

担任：めあて・応援メッセージ・計画を事前に確認。

家庭：応援することを明示し、声かけ・見届け・励ます。

PTA：まとめを作成し、学年ごとの温かい励ましを紹介。

学校：ノート展開催。(一番自慢のページを展示・交流)

双方の役割を明確にして取り組むことで、子どもにやりきりの満足感を味わわせています。家庭学習の習慣化、真剣に取り組む姿勢作り、学力の向上等、よい成果をあげています。



『保護者の応援すること・振り返り』(まとめの報告より)

応援：落ち着いて勉強できるように、環境を整えて、時間も決めて取り組めるように声かけをする。
振り返り：こちらが言わなくても、カードやクイズの自主学習をやっていたので「すごいなあ」と思いました。たくさんほめました。

応援：計画どおり進んでいるか、声かけをしています。
振り返り：毎日、多くのページを頑張りました。決めた事ができているので、良かったです。
振り返り：毎日、コツコツと頑張れました。中学校へ向けてこのまま続けていけるといいね。頑張れ!!

応援：毎日、がんばってやるすがたを見ているからね。8日間、がんばろう!!
振り返り：毎日、がんばってましたね。テストをやった、結果がたのしみですね。これからも、勉強をがんばろう!!

応援：毎日、自分の苦手な所を頑張って勉強してほしい。集中してできるように、マンガやおもちゃを片付ける。
振り返り：苦手なところをなくす努力ができた。これからも続けてね。自分で立てた計画をしっかりとこなせたので、よかったね。

各務原市立蘇原中学校

講演会型+子育てサロン型 12月1日(金)

「個性を大切にする子育て ～思春期の子どもの心を知る～」

講師：特別支援教育スーパーバイザー 中島 英雄 氏



<保護者の感想>

◇どうしてもすぐキレるのか具体的に分かりやすかった。自分の反応次第で良くも悪くもなると思った。
◇子育てが人生の1/4だけだと気づくと、この時間は大切にしなければとハッとした。
◇わが子に“大好きだよ。そのままでもいいんだよ。”と言ってあげたい。子育てを頑張れる気がした。
◇グループワークで先輩ママから、親の意向を冗談交りと言う思春期ならではの妙案を聞いてよかった。

運営者の願い

キレやすい思春期の子どもの心や自己肯定感を高めるための個性を大切に親子の関わり方について、ミニワークショップを通して学び合ってほしい。

家庭教育学級の年間計画

①給食試食会 ②校長講話 ③子育て講演会

♥「話そう!語ろう!わが家の約束」運動「スマホ・テレビの約束」づくり

子どもがキレるのは、脳の発達による思春期の暴走で、ホルモンが脳に侵入し劇的に変化させ、過敏になるからです。

そこで、4人1組で子ども役と親役になり、言い合いの疑似体験をし、親の望ましい関わり方を考えました。

<親の望ましい関わり方> ★オーダーメイドが大切★

- ①子どもの行動の変化をとらえようと努力する。
- ②子どもの友だちで顔と名前が一致する子を5人以上つかむ。
- ③反抗してきたら、家族だから出来ることだと心の中で喜ぶ。
- ④親の不安の100倍子どもは不安になっていると考える。
- ⑤たわいもない話をする努力をし、不適切な言葉はスルーする。
- ⑥一緒になって言い合いをしない。クールダウンタイムを設定する。
- ⑦怒った表情や雰囲気を出さない。
- ⑧親の考えを上から押し付けず、逃げず、親子で対峙する。
- ⑨〇〇のことが心配、大事、大好き、愛しているからと言葉を添える。
- ⑩的外しの返答を行って受け止め、共感の言葉を返す。

出来ることから、1つでも努力してみる

また、自己肯定感を高めるためには、自分が愛されていると実感できるよう、認めたり褒めたりする関わり方を大切にしていこうと学びました。

各務原市立中央小学校

親子体験活動参加型 1月13日(土)

「子どものためのコーディネーショントレーニング」

講師：日本体育協会 ジュニアスポーツ指導者
平野 俊男 氏



<参加者の感想>

子：親子でボールを上から落として逃げる運動は、スリルがあっておもしろかった。
子：いつもあまり運動をしないので疲れたけど、とても楽しかった。
親：両手両足、リズムをとって別々の動きをすることが難しかった。子どもと気軽にできそうなので、日々コミュニケーションを取りながらやりたい。
親：ハイハイが大事ななんて知らなかった。5～8才にトレーニングすることで運動神経の向上につながることを知った。家でも頭と体を使いたい。

運営者の願い

さまざまな運動能力を鍛える身体の動かし方を親子・家族で楽しく学び、運動神経をよくしていくトレーニングを通して、家族のふれあいを深めてほしい。

家庭教育学級の年間計画

①子育て講演会(サロン型) ②♥家族でクッキング(在宅型) ③コーディネーショントレーニング

♥「話そう!語ろう!わが家の約束」運動「あさがお おやこ チャレンジ」

コーディネーショントレーニングでは、随意運動を目的に合わせて調整していく能力(定位、変換、連結、反応、識別、リズム、バランス能力)を、10才までにトレーニングすると、能力が開発され獲得できるそうです。

この日、約90名の親子・家族が2時間で20種目に挑戦しました。指・手・足で2拍子と3拍子を同時にする、じゃんけんの勝者は叩き、敗者は手を引く等、瞬発力や連結力・リズム能力を遊びの中で鍛えました。

小さなボールを両足で前や後ろに上げてキャッチする、2つのボールをハイといって別々に落としてキャッチしたり当たらないように逃げたりもしました。

最後は、2本の縄を同時に回す縄跳びに挑戦しました。“1度できたことは忘れない”との言葉に勇気をもらい、とても寒い日でしたが、親子で様々な運動に夢中になり、体も心もほかほかで、笑顔になりました。

今だから分かる！効果的な組み合わせ！

1年を終えようとする今だからこそ、“分かる！”ということがあります。年度当初は、はじめての言葉ばかりで、その言葉のもつ意味や願いを十分理解できなかったけれども、今なら、“組み合わせる”ことの有効性を再確認できる方も多いと思います。

ですから、5つの学習形態の“効果的な組み合わせ”を、引き継ぎに付け加えてみませんか！

学校行事参加型

A

就学時健診、授業参観、PTA活動など、学校（園）の行事がある機会をとりえて開催する。

<メリット>

- ・参加者が集まりやすい。
- ・多くの保護者に学びの場を提供できる。

体験活動参加型

B

ヨガ、料理、親子遊びなど、保護者自身のリフレッシュや家族のふれあいの場をつくる。

- ・カルチャースクールの内容は参加しやすい。
- ・家族のふれあいができる。

講演会型

C

テーマに適した講師を依頼し、専門的な話をしてもらうなど、課題に応じた学びの場をつくる。

- ・専門的な学びができる。
- ・より深く自分の思いや行動を振り返ることができる。

子育てサロン型

D

小グループの和気あいあいとした雰囲気の中で互いの経験や悩みを交流し、子育てのヒントをつかむ。

- ・話すことで悩みや不安が軽減でき、安心感や自信がもてる。
- ・保護者同士のつながりができやすい。

在宅取組型

E

読み聞かせ、弁当の日、わが家の約束運動など、親子でできることを話し合っ決めて、各家庭で取り組む。

- ・全ての保護者が参加できる。
- ・その家庭に応じた活動ができる。

学校行事参加型+講演会型+体験活動参加型

①授業参観後、人権講演会を親子で聴きました。次に、子ども会育成会によるKTY講習。その後、引き渡し訓練。参加率が高く、親子の学びが充実しました。

（方県小学校）

②食育講話を聴いて、給食試食会。その後子どもたちの給食の様子を参観。午後の授業参観までの間を活用して、お茶を飲みながらサロン形式の交流会を開催し、学び・体験・交流ができました。

（稲羽東小学校）

③父親委員が「親子ふれあい遊び」を実施し、ぶらさがり体験や紙飛行機作成等を行いました。親子の会話や家族のふれあいを十分に楽しむことができました。（本巣幼児園）

学校行事参加型+子育てサロン型+講演会型

④土曜授業公開日に、「わが子のいいところ見つけた！」について少人数グループ（子育てサロン型）で、自慢し合い、笑顔になりました。その後、養護教諭の講話も聴いて、中学生の子育てに自信をもつことができました。（厚見中学校）

⑤保育参観後、ハグニケーションの講演会。ワーク形式での幸せになるための語りかけ交流やハグ体験が好評で、子育てのヒントをつかみ笑顔になりました。（中保育教育センター）

在宅取組型+学校行事参加型+子育てサロン型

⑥4月に「こつこつ！ぐんぐん！おうちべんきょう」（在宅型取組）について説明。6月に実施。7月の学級懇談会で、取組結果をもとに“子どもが勉強に集中するためにどんな協力をしたか”について保護者同士で学び合い、よりよい子育てのヒントをつかみました。

（真桑小学校）

⑦7月の懇談会で在宅取組について説明・交流（サロン型）をして夏休み中に実践。家族のコミュニケーションを充実させています。（いわ桜小、梅原小、鶴沼第二小etc.）

⑧夏休み宝物展や授業参観日等に、「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カードを展示・紹介し、学び合う機会を設けています。（那珂第一小、中小、早田小、鶴沼中etc.）

5つの学習形態を組み合わせると、参加保護者の利便性や満足度をあげ、効果を高めます。

全ての保護者と子どもたちに参加してほしいと願うならば、Eの在宅取組型がおすすめです。県が推奨している「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を在宅型で行うと、家族のコミュニケーションを大切にし、自己肯定感を高め、家族の絆を深めることができます。来年度も是非取り組んでいただきたいと思います。

来年度の計画立案にかかわる効果的な組み合わせについて、次の人にアドバイスしてください。

企業内家庭教育研修 実施！

企業内家庭教育研修は、岐阜県・岐阜県教育委員会・岐阜県経済同友会の三者が平成20年度に結んだ協定をきっかけに行っている事業です。各会社や個人が抱えている課題を克服し、「ワーク（仕事）」と「ライフ（生活）」のバランスを保ち、「家庭を大切にすること」が「企業を元気にする」と考え、研修や講師のコーディネートをしています。

＜企業の願い・社員の願い＞

- ・家庭教育全般（遊びの重要性、親子のコミュニケーション、基本的生活習慣の育成）
- ・子どもの生き方（夢や希望、読書と生活、心の教育、福祉・ボランティア等）
- ・今日的課題（食育、防犯対策、ネット社会、防災）

【環境生活政策課 担当者が研修をコーディネートします】

- ・事前相談、講師との打ち合わせ
- ・講師派遣（謝金不要、交通費実費）

企業内 家庭教育 研修

ヨツハシ(株)

実施日時：平成29年8月4日（金）11:00～12:00

講師：岐阜聖徳学園大学 教授 安田 和夫 氏

テーマ「コミュニケーションでつながり、広がる、共感する！」



ヨツハシ(株)は、企業内家庭教育研修開始時から9年連続の研修です。社長さんは、会社でも家庭でも、仲間(家族)や自分のよさに気づき、コミュニケーションでつながり、広がり、共感する研修を希望されました。90名参加。

安田教授は、「おめでとう」「すごいね」「ありがとう」と心から溢れることがでる場を設定されました。また、違う重さの石を一人1個ずつ配布し、グループで何グラムになるか話し合うゲームでは、携帯や1円玉等を手掛かりに、共感

し合いまとめていました。正しく伝えて正確な絵を描く伝言ゲームでは、場所や形等をていねいに聞く・話す・話し合うことを通して、つながり・広がり・共感し・自信を得ていく研修となりました。

参加社員が、人との関わりのよさやコミュニケーションの楽しさを実感できる研修は、職場を元気にし、それが家庭でのコミュニケーションの充実にもつながっていきます。

トーカイ(株)

実施日時：平成29年10月15日（日）10:00～13:00

講師：岐阜保健短期大学 教授 小島 誠 氏 他6名
岐阜県レクリエーション協会 理事・事務局長 高田 保 氏

テーマ「体力年齢を知ろう！」「家族でふれあおう！」



トーカイ(株)は、5年連続の研修です。社員650名参加の運動会において、上体起こし、腕立伏臥腕屈伸、握力、2ステップテストの測定及び足圧分布や足把持測定等を通して、自分の体力年齢や身体の特徴を知り、より健康的な生活をおくることができるようにと願って、産・官・学が連携して実施しました。

参加者は、「今年も自分の体力を知ることができてよかった。」「もっと運動をしたい。」と自分と向き合いました。大学の結果考察では、昨年に比べ、運動習

慣として実行及び維持している人が増加し、これから運動をはじめようとしている人も多くいるとのことでした。

また、ミナモとともに、家庭でも実践できる簡単なレクリエーションや体操で、家族のふれあいを深めました。

この企業内家庭教育研修は、「仕事と生活の両立のため自分の働き方や生活を見直す機会」「自分自身の身体と向き合うよい機会」と肯定的です。体力作りや家族のふれあいを大切にした家庭教育の充実につながります。

バイパス給食センター(株)

実施日時：平成29年12月4日（月）17:45～18:45

講師：河上薬品商事(株) 社長 河上 宗勝 氏

テーマ「健康で長生き！」



バイパス給食センターは、6年連続開催です。今回は、河上氏の人柄と生き方に惚れ込んだ専務が、食を通しての健康を大切にしている自社の全従業員に「食べることを大切にした家庭生活や体作りについて学んでほしい」と願って、勤務終了後に実施。64名参加。

企業内家庭教育研修について「身近で話を聞いて自分を見つめる機会に感謝」「家族あつての1従業員。家庭円満。健康が大切だから。」と主体的に参加しています。

河上氏は、健康になるための6つのポイントとして“早寝早起き朝ごはん、運動、禁煙、野菜ファースト、入浴、笑うこと”を入れた家庭生活を大切にしてほしいと話されました。

参加者は、「規則正しい生活と偏らない食事と適度な運動を心掛ける。」「野菜ファーストとお酢がポイント。」「家族と一緒に大声で笑いたい。」と自らの家庭生活について、真摯に学ぶ姿勢がすばらしかったです。

今後も、企業側や社員の意向を踏まえ、すべての基本となる家庭教育の充実をめざしていききたいと思います。